

嘉徳海岸侵食対策工事に関する説明会

○ 開催日時 : 令和7年10月15日(水) 午後7時～午後8時

○ 開催場所 : 嘉徳集落集会所

会 次 第

1 開会の挨拶

2 令和7年度に実施する海岸部の護岸工事について

3 質疑応答

4 閉会

鹿児島県大島支庁瀬戸内事務所

嘉徳海岸 海岸侵食対策工事について

瀬戸内事務所建設課

令和7年10月15日

侵食対策工事（護岸工事）の計画について

「嘉徳海岸侵食対策事業検討委員会」で示された整備方針に基づき、背後地が住宅や墓地に利用され、砂丘の侵食幅が大きかった180mを護岸の整備区間としています。

護岸の全面を砂で覆い、アダン等の植物を植栽することによって、動植物の生態を保全するとともに、景観の保全を図ることとしています。

令和6年1月撮影(破線内:令和7年7月撮影)

護岸の全面を砂で覆い、アダンなどを植栽することによって動植物の生態を保全するとともに、景観の保全を図ることとしています。

工事用道路について

工事用道路35mについては、令和7年3月に概ね完成し、4月以降は、海岸工事へ向け、大型土のうの移動作業やクレーン作業場所の整地作業などを行いました。

着手前

完 成

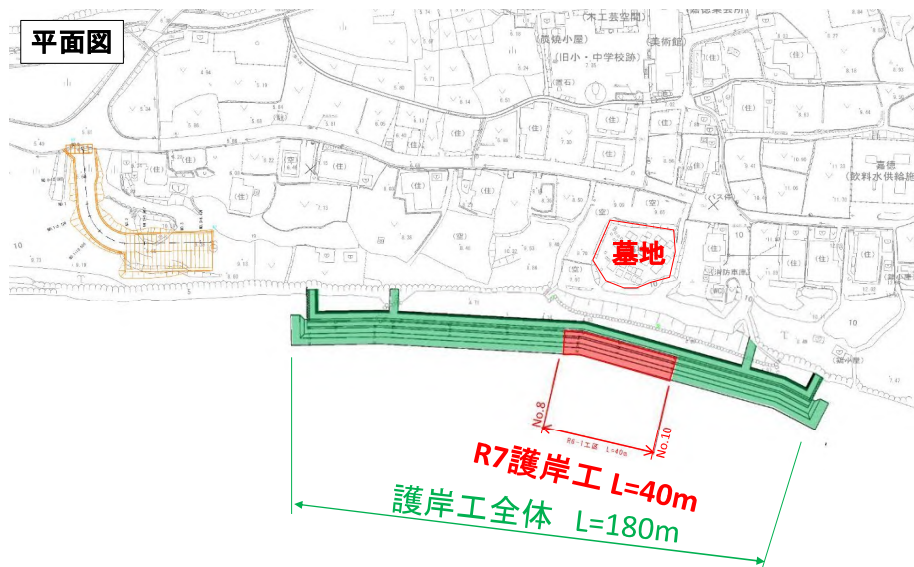


これまでの工事については、3月までに工事用道路35mを概ね完成し、4月以降は、海岸工事に向けた整地などの作業を行ってきました。

護岸工事について（今回の工事場所）

令和7年度の護岸工事は、墓地付近の延長40mを施工します。

平面図



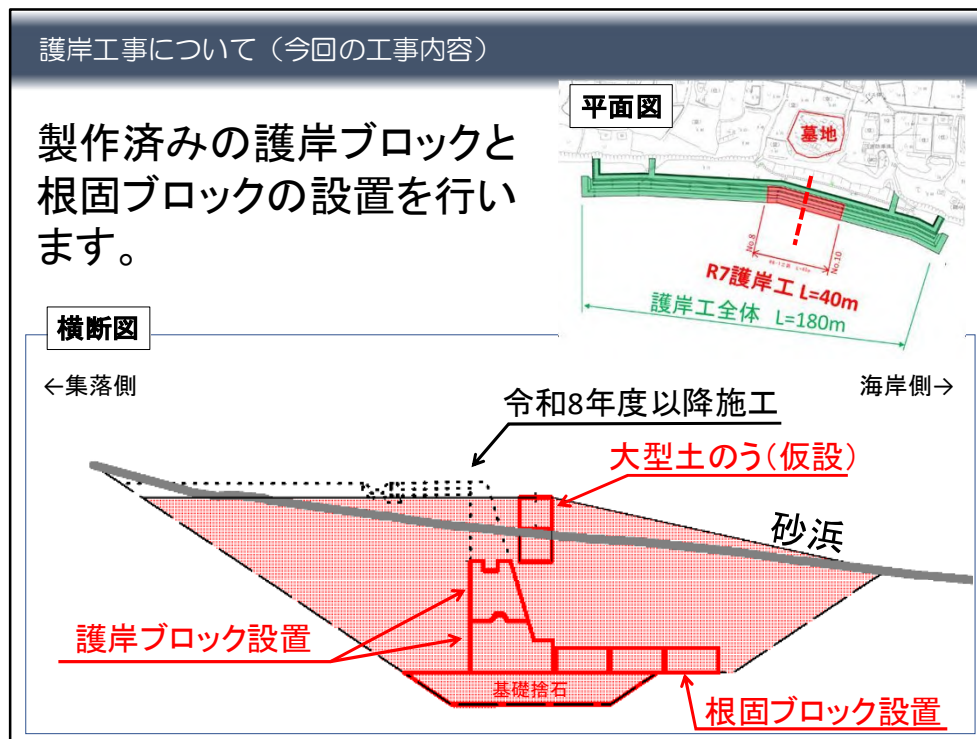
今年度発注した工事内容を説明します。

9月30日に株式会社 勇建設と契約を結び、工事の期間は令和7年10月1日から令和8年3月25日を予定しています。

工事区間は、護岸を計画している180mのうち、砂丘の侵食の大きかった墓地付近の40mです。

（今回工事：No. 8～No. 10のL=40m）

（全体計画：No. 3 + 10.0～No.12+10のL=180m）



この図面は、今回工事を行います護岸を横から見た図です。

右上の平面図に示している、お墓前の赤破線の断面を、横からみた図（横断図）です。

灰色の線が、現在の砂浜の位置（高さ）です。

今回は、赤枠で囲った部分（護岸ブロック、根固ブロック、大型土のう（仮設））の工事を行うこととしており、黒色の点線で描かれている部分は、次回以降の工事となります。

次のスライドからは、工事の流れについての説明です。



工事着手前の、現在の様子を表した図面です。

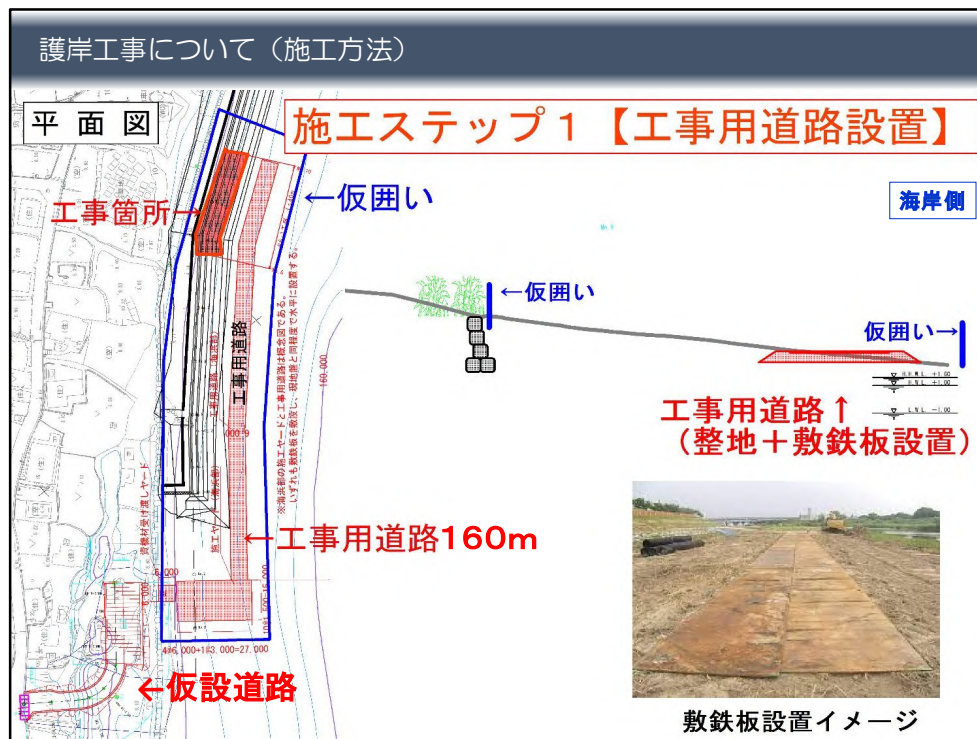
左側が上空から嘉徳集落を見た図（平面図）です。

右側が平面図に表示している、No9の箇所を横から見た図（横断面図）です。

写真は、その付近を撮影したものです。

現在アダンが見えている下の部分には、平成28年に瀬戸内町が設置した、大型土のうが埋まっています。

また、現場には、護岸の設置する場所や高さが分かるように「丁張（ちょうはり）」と呼ばれる木で作成した枠が設置してあります。



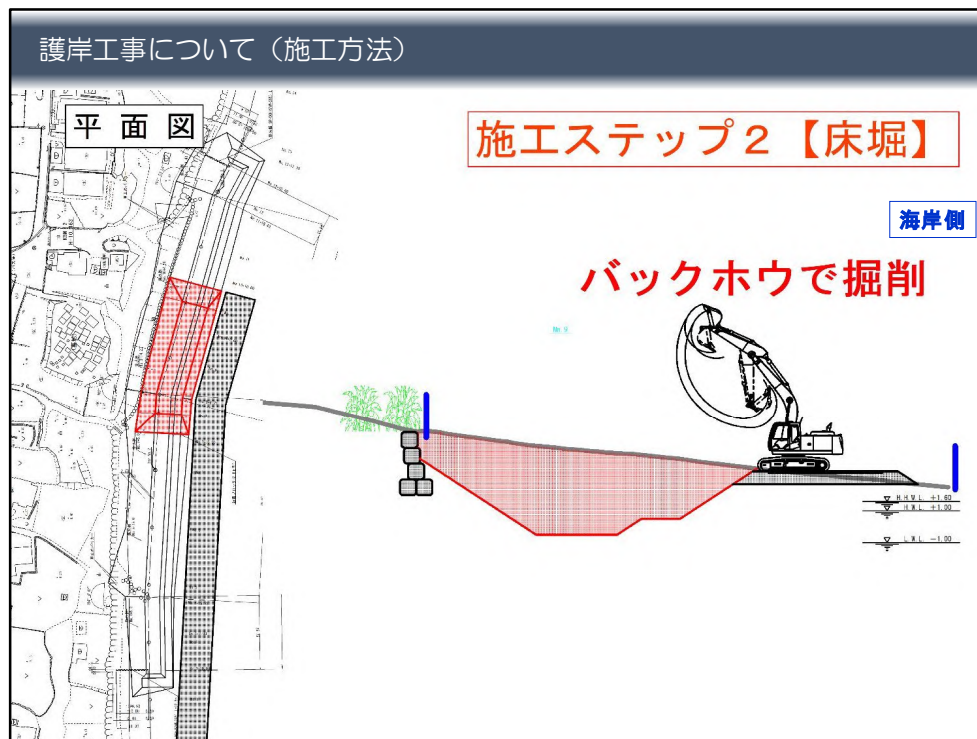
施工ステップ1は、仮設道路から工事箇所までの砂浜に、工事用道路（約160m）を整備します。

砂浜を整地し、敷鉄板の設置を行います。

なお、工事区域内は重機等の往来があり危険であることから、工事着手前にロープなどで囲い、工事関係者以外の立ち入りを禁止します。

オカヤドカリ類にも十分配慮しながら施工を行います。

（オカヤドカリ類の説明については、P19を参照。）



施工ステップ2は、バックホウを使った掘削作業を行います。

掘削深さは5～6 m程度です。



施工ステップ3は、基礎捨石を投入し、敷並べ作業を行います。



施工ステップ4は、掘削した砂を利用して大型土のうを製作・設置し、掘削した箇所が崩れないような措置を行うとともに、クレーンの作業場所を造ります。



ブロックの運搬については、ブロック仮置き場から嘉徳海岸までをトレーラーやダンプトラックで運搬します。

今回は、護岸ブロックを36個（上段16個・下段20個）

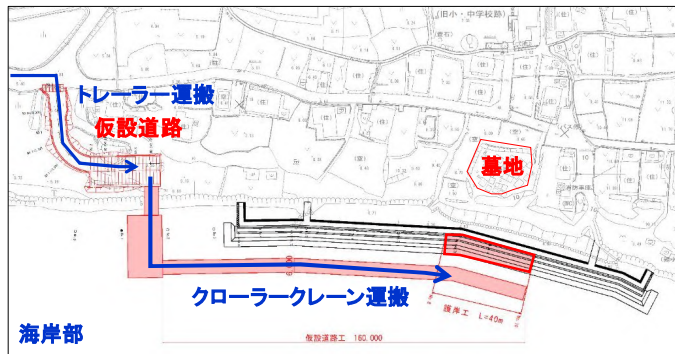
根固ブロックを72個を運搬します。

運搬回数は、約60回を予定しています。

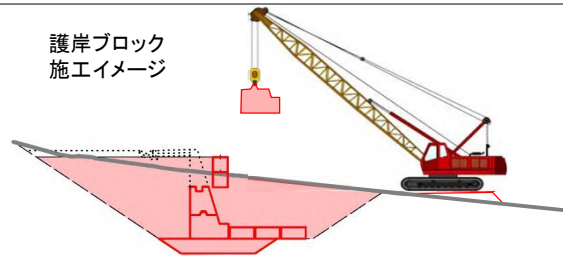
※ 運搬中は、皆様方にご迷惑をおかけすることになりますが、ブロック置き場の入り口と、嘉徳海岸入り口には誘導員を配置し、待避所を利用しながら、安全第一で運搬作業を行いますので、ご協力をお願いします。

ブロック運搬経路について

工事においては大型機械(トレーラ、クレーン等)を使用し、ブロック等の運搬・据付を行います。

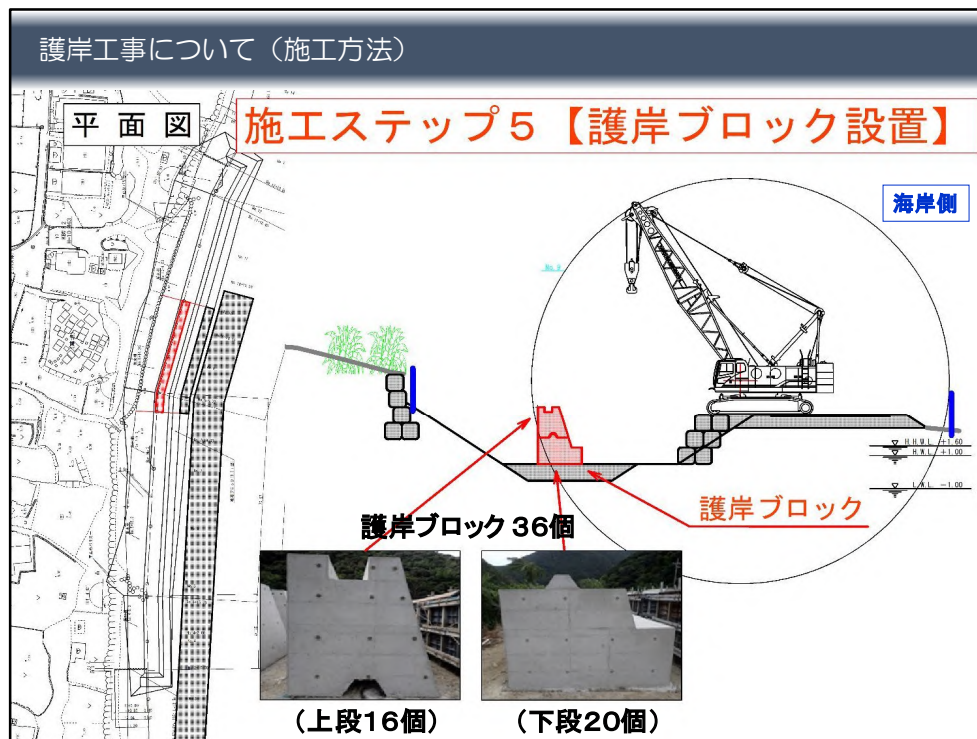


トレーラー(イメージ)



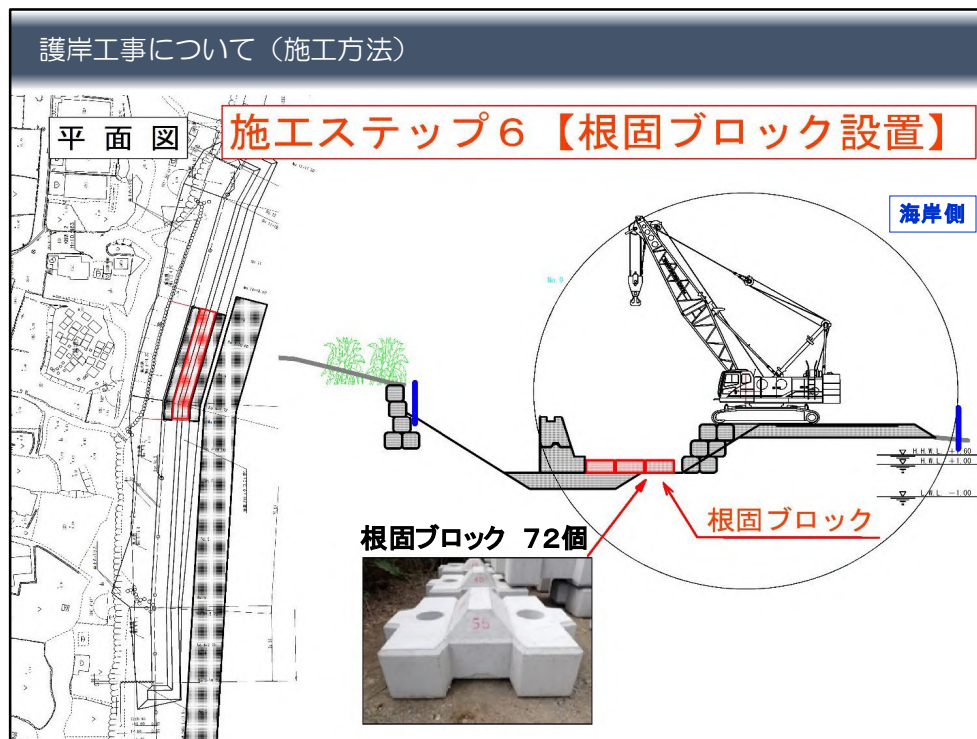
クローラークレーン(イメージ)

ブロック仮置き場から仮設道路までトレーラーで運搬したのち、海岸部にクレーンでブロックを下ろし、クレーンを利用して海岸部の運搬を行います。

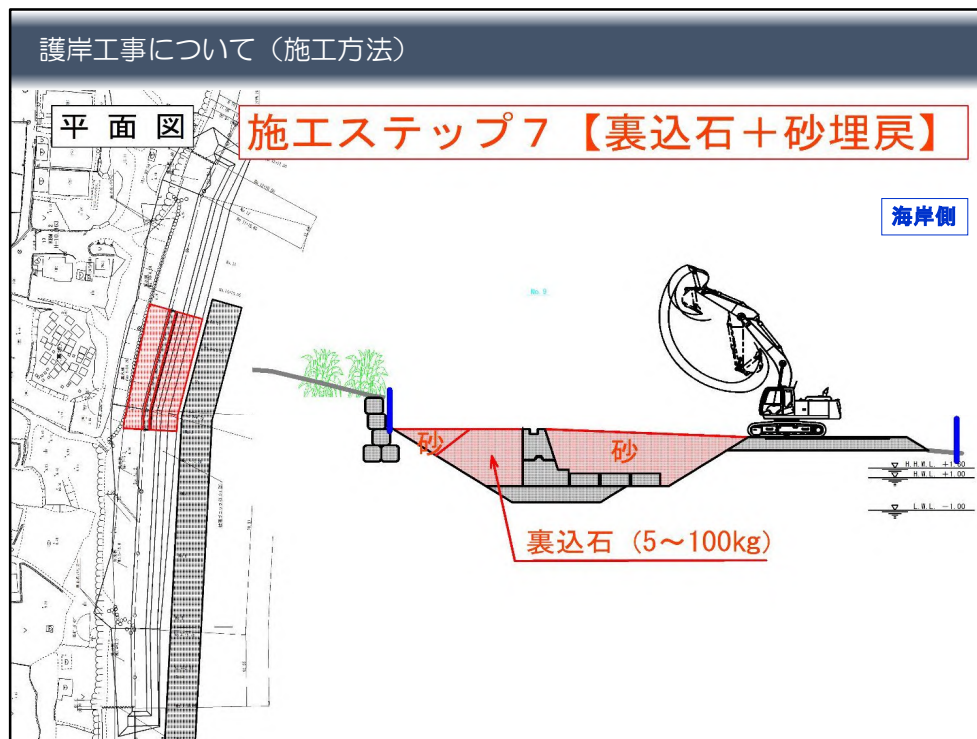


施工ステップ5は、クレーンによる護岸ブロック据え付けを行います。

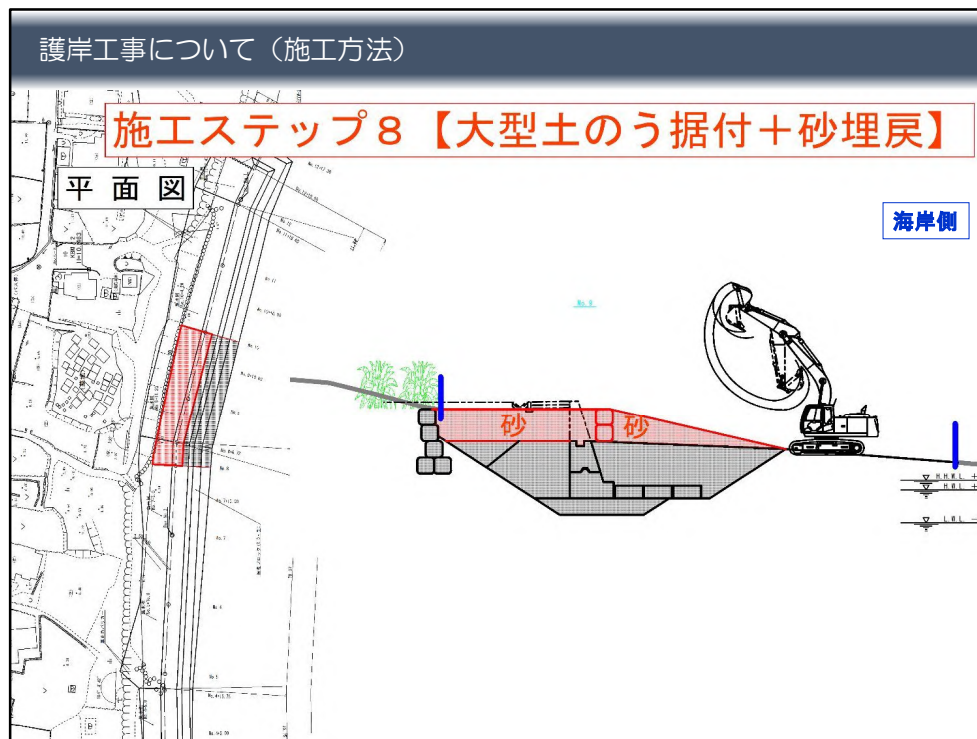
護岸ブロックを上下2段、クレーンを使用して積みます。



施工ステップ6は、護岸ブロックを据えたのち、根固ブロックを護岸前面に3列設置します。



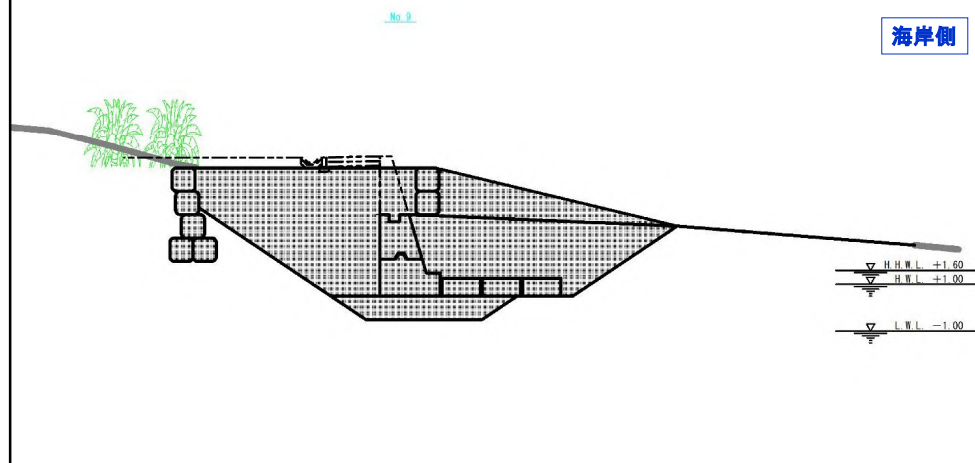
施工ステップ7は、ブロックを据え付けた後に裏込石と砂で埋め戻しを行います。



施工ステップ8は、暫定的に大型土のうを2段設置し、砂で埋め戻しを行います。

黒色の点線は、来年度以降に施工します。

施工ステップ9【完成】

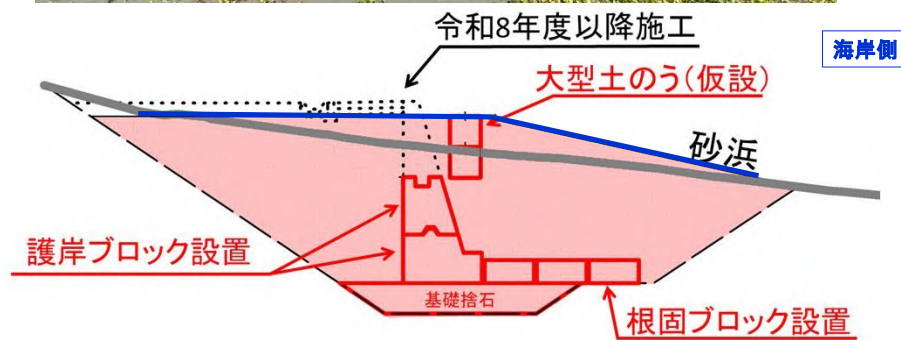


今回の工事完成の形です。

地表面につきましては、全て砂で覆う形となります。

なお、これまで説明した施工ステップは、現時点での大まかな工事の流れを説明したものであり、実際の工事では施工の順序等が変わることもあります。

護岸工事について（工事完成後のイメージ）



今年度の工事完成時は，砂浜の位置（高さ）が現在の灰色の線から青色の線の形状となるため，高いところで約1.0m程度，現在より砂が盛り上がる形となります。

大型土のうより前面は，完成形に近い形となるため，工事完了後のイメージができるようになります。

また，点線部分は次回以降の工事となります。

天然記念物「オカヤドカリ類」の保全対策について

嘉徳海岸では、工事箇所及びその周辺に国指定の天然記念物「オカヤドカリ」の生息が多数確認されているため、工事の実施にあたっては、オカヤドカリ類への影響を回避・低減するために、文化財保護法に基づく許可を得た保全対策を実施の上、工事を行うこととしています。

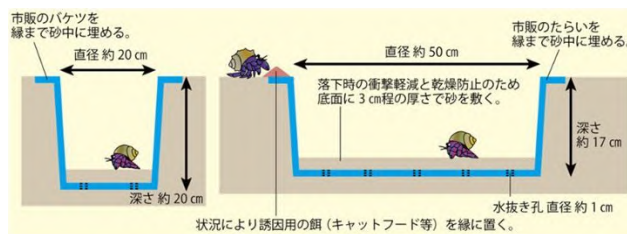
■ 進入防止柵の設置

プラスチック板（農業資材の畦シート）などのオカヤドカリ類が登れない平滑な素材を用いて、工事区域の外周を閉め切る。



■ トラップによる捕獲と個体の移動

進入防止柵内にトラップを仕掛けて柵内のオカヤドカリ類を捕獲する。トラップは市販のプラスチックバケツ等を砂浜に埋めた「落とし穴方式」とする。底面には、水が抜けるよう穴を開けて中に薄く砂を敷いておく。また、バケツ等を埋める際には、縁に段差ができないよう留意する。



オカヤドカリ類への保全対策については、オカヤドカリ類への影響を回避・低減するため、文化財保護法に基づく許可を得た保全対策を実施します。

具体的には、工事施工前に、進入防止柵を設置し、工事区間内へのオカヤドカリ類の進入を防止します。

また、工事区間内に取り残されたオカヤドカリ類については、トラップによる捕獲を行い保護します。

ウミガメへの配慮について

ウミガメが上陸し産卵する時期（５月～８月）においては、海浜部での工事は中断します。
（これ以外の時期についても影響がある期間については工事を中断します。）

【近年の上陸・産卵の状況】

- ・令和４年７月 １日…アカウミガメ産卵
- ・令和４年７月３１日…アオウミガメ産卵
- ・令和５年・令和６年…上陸や産卵なし
- ・令和７年６月１１日…アオウミガメ産卵
- ・令和７年８月１３日…アオウミガメ産卵

令和7年6月11日
アオウミガメ産卵



令和7年8月13日
アオウミガメ産卵



ウミガメの配慮については、５月から８月をウミガメ上陸・産卵の配慮期間として原則工事を中止することとしています。

８月１３日にアオウミガメの産卵を確認しており、今回の工事では、孵化・脱出に影響が無いように、配慮しながら工事を進めます。

今後の予定について

護岸本体工事（海岸部）のスケジュール（予定）

- ・ 令和 7 年 9 月 3 0 日 工事契約（請負者：（株）勇建設）
- ・ 令和 7 年 1 0 月 下旬 工事着手
- ・ 令和 8 年 3 月 2 5 日 完成予定

地元集落、瀬戸内町、瀬戸内町議会から早期完成の強い要望をいただいていることから、住民の生命や財産を守るため、工事の安全かつ円滑な遂行を確保しながら早期に整備を進めます。

工事へのご理解・ご協力をお願いいたします。

工事の施工予定につきましては、
掲示板でお知らせします。



今後の工事の予定については、10月下旬に現地測量からスタートし、順次、工事に着手することとしています。

工事完了は、令和 8 年 3 月 25 日を予定しています。

なお、工事の予定や工事の進捗などについて、県のHPや現地の掲示板で随時お知らせします。

住民の生命や財産を守り、安全・安心な生活を実現するため、工事の早期完成に努めます。

安全かつ円滑に工事が進むよう、ご理解・ご協力をお願いいたします。

